

人材育成等に関する目的

工業化学科は、人類に必要な物質やプロセスを創製するために必要な教養、基礎、専門知識を教授し、将来自らこれらの研究開発ができる能力を育成することを教育目標とする。

カリキュラム・ポリシー

1. 大学の理念「自然・人間・社会とこれらとの調和発展のための科学と技術の創造」という教育研究理念に基づいて、学科が定める「人材育成等に関する目的」を実現するための工学（工業）の教育課程を編成する。
2. 高い能力を身に付けた学生のみを卒業させるが実力を重視し、厳格な教育課程を実施する。
3. 段階的な知識の修得を促すため、「一般教養科目」、「基礎科目」、工学分野における専門分野の基礎となる「基礎科目」、工業化学分野における研究・技術者等に必要能力を養うための「専門科目」の種類の授業科目を体系的に配置する。
4. 工業化学分野で活躍するためのコアスキル（専門性、問題力、課題設定・解決力、情報・社会的思考力、倫理観）を養成する科目を配置する。
5. 「一般教養科目」では、自然・人間・社会を幅広く俯瞰する能力、判断・行動力を養う授業科目を効果的に配置する。
6. 実践科目においては、実践に必要となる基礎的な能力を身に付け、学習態度・意欲を主体的に向上させる授業を行う。
7. 「基礎科目」では、初年次および基礎基礎科目、「専門基礎科目」の授業科目を効果的に配置し、併せて学生が自ら学ぶ学習時間を確保し、基礎学力を強化した上で、「専門科目」上の課程を履修する。
8. 「専門科目」では、知識の他に、多岐にわたる実践・演習中の授業科目を効果的に組み合わせて工業化学分野の専門知識と技術を高め、併せて他の授業科目との関連や学際的方法を学ぶ。
9. 学生課題の集大成として、最終学年次に卒業研究を実施する。
10. 自身の専門分野を超えて幅広く関心のある科目を履修できるように、他学部・他学科の科目の履修や大学院科目の先行履修を可能とし、学生の学習意欲の向上を図り、多様な学習コースに応える教育課程とする。

